

社会资本整備総合交付金 事後評価シート(中間評価)

1 乙川リバーフロント地区整備計画

平成30年3月

愛知県岡崎市

(参考) 社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書（中間評価書）

平成30年3月

計画の名称	1 乙川リバーフロント地区整備計画																								
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）				交付対象	岡崎市（愛知県）																			
計画の目標	大目標 “夢ある次の新しい岡崎”～乙川の水辺空間と歴史文化遺産を活かした観光産業都市の創造～ 目標①：水辺空間を活かした、安全で安心して、歩き、楽しめる場の創造 目標②：交通結節点との連携強化による中心市街地への新たな交流・にぎわいの創造																								
計画の成果目標（定量的指標）																									
• 本地区の魅力発揮に関する市民満足度評価を60%（H26）から65%（H31）に拡大 • 橋梁（歩道、人道橋）を往来する人数を3,720人から4,170人へ拡大 • 観光客数として岡崎城の入場者数を20.7万人から24.3万人に拡大 • 東岡崎駅の1日当たり乗降客数を36,594人から40,900人へ拡大																									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考																
						当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H31末)																	
「魅力発揮」に関する市民、観光客による評価（アンケート調査により、「だいたい満足」or「たいへん満足」と回答した人の割合）						60%		65%																	
週末（12h）における潜水橋、殿橋、明代橋、吹矢橋、新人道橋の歩行者、自転車数						3,720人/12h		4,170人/12h																	
岡崎公園における岡崎城入場者数						20.7万人/年		24.3万人/年																	
東岡崎駅の1日当たり乗降客数						36,594人/日		40,900人/日																	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	7,773百万円	A	6,678百万円（うち提案事業分 0百万円）	B	0百万円	C	1,047百万円	D	48百万円															
効果促進事業費の割合 (A（提案分）+C)/(A+B+C+D)										13.5%															
事後評価（中間評価）																									
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																									
事後評価（中間評価）の実施体制						事後評価（中間評価）の実施時期			平成30年3月																
学識経験のある者や市議会の議員等で構成する、岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会にて、整備計画の評価を実施						公表の方法	市ホームページ																		
1. 交付対象事業の進捗状況																									
交付対象事業																									
A 基幹事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）		全体会事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考											
1-A-1	都市再生	一般	岡崎市	直接	岡崎市	乙川リバーフロント地区都市再生整備計画 (都市再構築戦略事業)	157.2ha	岡崎市	H27	H28	H29	H30	H31	6,678 2.79											
									合計		6,678														
B 関連社会資本整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）		全体会事業費 (百万円)	備考												
									H25	H26	H27	H28	H29												
C 効果促進事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区	事業実施期間（年度）		全体会事業費 (百万円)	備考												
1-C-1	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市		モニュメント整備事業	徳川四天王石像、徳川家康像	岡崎市	H27	H28	H29	H30	H31	71										
1-C-2	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市		橋梁修繕照明整備事業	殿橋、明代橋の修飾照明	岡崎市						140										
1-C-3	社会実験	一般	岡崎市	直接	岡崎市		木舟運行事業	五万石舟復元運行の検証	岡崎市						36										
1-C-4	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市		船着場・船揚場整備事業	船着場、船揚場、係留施設	岡崎市						134										
1-C-5	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		まちづくり講演会	専門家によるまちづくり先進事例の講演	岡崎市						5										
1-C-6	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		かわまちづくり祭信事業	奉手の祈りプロジェクト	岡崎市						56										
1-C-7	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		かわまちづくり民間連携事業	かわまちづくりと民間事業者との連携実験	岡崎市						61										
1-C-8	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		かわまちづくり組織化事業	かわまちづくり協議会・実行委員会運営実験	岡崎市						18										
1-C-9	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		かわまちづくりマネジメント公募事業	かわまちづくりマネジメント公募事業	岡崎市						18										
1-C-10	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		まちづくり啓発事業	ワークショップ	岡崎市						100										
1-C-11	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		官民連携まちづくり持続化事業	まちづくり活動民間移行実験	岡崎市						43										
1-C-12	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		まちづくりモニタリング事業	アンケート調査、中間・事後評価	岡崎市						11										
1-C-13	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市		岡崎城跡調査情報発信事業	専門家による城門・曲輪等の現地説明会	岡崎市						53										
1-C-14	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市		岡崎城跡歴史的建造物等活用整備事業	觀光活用のための整備見える化整備	岡崎市						301										
									合計		1,047														

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
I-C-1	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に整備することで、伝統産業と歴史文化を活かしたモニュメントの整備により、本市の新たなシンボルとなり、石工の技術の伝承と新たな交流、賑わいの創出ができる。	
I-C-2	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に整備することで、近代土木遺産でもある橋を活かした修復照明により、河川空間の新たな景観を創出するとともに、安全で安心して、歩き、楽しめる橋と新たな賑わいの創造ができる。	
I-C-3	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に整備することで、五万石舟の復元による利用状況や通行状況を検証し、歴史文化を活かした新たな魅力の継承と創造ができる。	
I-C-4	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に整備することで、駅と新たに木舟による交通結節点を生み出し、これら交通結節点と歴史文化への連携強化により、水辺空間を活かした、新たな賑わいと楽しめる場の創造ができる。	
I-C-5	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に整備することで、市民の乙川を活かしたかわまちづくりに対する啓発を図る。	
I-C-6	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、水辺空間を活かした新たなまちづくり発信行事による賑わいの創出と乙川リバーフロント地区整備を切っ掛けとした市民のまちづくりに対する意識の向上を図る。	
I-C-7	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、近代土木遺産でもある橋を活かした修復照明により、河川空間の新たな景観を創出するとともに、安全で安心して、歩き、楽しめる橋と新たな賑わいの創造ができる。	
I-C-8	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、かわまちづくりによる乙川の新たな民間利活用に向けたスキームが構築できる。	
I-C-9	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、かわとまちの融合を図るべく、乙川の利活用事業者間の調整、連携などをを行うためのマネジメント組織の公募の枠組みができる。	
I-C-10	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、かわとまちの融合を図るべく、乙川の利活用事業者間の調整、連携などを実現するためのマネジメント組織の公募の枠組みができる。	
I-C-11	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、公共用地を最大限に利活用した民主導のまちづくりの取り組みにより、まちの活性化を持続可能なものとする。	
I-C-12	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、「魅力発揮」に関する市民、観光客による評価を把握できる。	
I-C-13	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、歴史文化遺産の価値や魅力をわかりやすく情報発信し、市民・観光客の理解を深めることができる。	
I-C-14	都市再生整備計画事業(1-A-1)と一体的に実施することで、全国で五指に入る城郭規模の岡崎城跡を市街地内でも身近に体感できることで、回遊性が高まるとともに、賑わいを生み出すことができる。	

*交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

番号	事業種別	地域	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
D-1	地籍整備	一般	愛知県	間接			岡崎市	地籍調査（乙川リバーフロント地区）	面積 0.5㎢	岡崎市			31	17	48	
合計																48

番号 一体的に実施することにより期待される効果

I-D-1 土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。

その他関連する事業

計画等の名称	東岡崎駅周辺地区整備計画							全事業費 (百万円)	備考							
	番号	事業種別	地域	交付間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名								
A'1-A-1 交通戦略	一般	岡崎市	直接		岡崎市	東岡崎駅前広場整備	駅前広場 A=3,000m ²	岡崎市							452	
A'1-A-2 交通戦略	一般	岡崎市	直接		岡崎市	明大寺交通広場整備	交通広場 A=2,400m ²	岡崎市							65	
															合計	517

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

事業の進捗により、全ての指標の中間実績値が従前値を上回る結果となっていることから、一定の効果が発現しているものと考えられる。

II 定量的指標の達成状況

指標① 「魅力発揮」に関する市民、観光客による評価 アンケート調査による「お好みの渓流」or「たいへん渓流」と回答した人の割合	中間目標値	—	目標値と実績値に差が出た要因	指標の中間実績値が従前値を上回っていることから、一定の事業効果が発現しているものと考えられる。
	中間実績値	65.5%		
指標② 週末（12h）における潜水橋、廻橋、明代橋、吹矢橋、新人道橋の歩行者、自転車数	中間目標値	—	目標値と実績値に差が出た要因	指標の中間実績値が従前値を上回っていることから、一定の事業効果が発現しているものと考えられる。
	中間実績値	5,106人/12h		
指標③ 岡崎公園における岡崎城入場者数	中間目標値	—	目標値と実績値に差が出た要因	指標の中間実績値が従前値を上回っていることから、一定の事業効果が発現しているものと考えられる。
	中間実績値	22.7万人		
指標④ 東岡崎駅の1日当たり乗降客数	中間目標値	—	目標値と実績値に差が出た要因	指標の中間実績値が従前値を上回っていることから、一定の事業効果が発現しているものと考えられる。
	中間実績値	39,068人/日		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

本事業を含む「乙川リバーフロント地区まちづくり（おとがわプロジェクト）」により、かわまちづくり、リノベーションまちづくり、観光まちづくりが進展し、既存拠点を河川、公園、道路などの公共投資に持続させ、まちなかの回遊を実現するため、QURUWA上の良質な公共空間を活かし優良な民間企業を引き込む公民連携事業を実施していく「QURUWA戦略」が躍進される等、公民連携によるまちづくりの機運が高まっている。

3. 特記事項（今後の方針等）

全ての指標において数値目標を上回るよう、引き続き事業の推進を図る。
本事業によって整備された公共空間と、既存集客拠点（りぶら、岡崎城等）及び交通結節点を結んだ主要回遊動線「QURUWA」を設定し、QURUWA上の良質な公共空間を活かし優良な民間企業を引き込む公民連携事業を実施していく。

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 乙川リバーフロント地区整備計画
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)
交付対象	岡崎市

The map illustrates the Ichigawa Riverfront Area Development Plan (1-A-1) in Okazaki City. It features the Ichigawa River (乙川) flowing through the center, with the Yashikawa River (矢作川) joining it from the west. Major roads include the Tohoku Expressway (東名高速道路) and National Route 1 (国道1号). Rail lines shown are the JR Tōkaido Main Line (JR東海道本線), the Aichi Loop Line (愛知環状鉄道), and the Meitetsu Nagoya-Tokoname Main Line (名鉄名古屋本線). Several stations are marked: Nakasato Station (中岡崎駅), Okazaki Park Station (岡崎公園駅), Higashiozaki Station (東岡崎駅), Rokko Station (六名駅), and Okazaki Station (岡崎駅). The Okazaki City Hall (岡崎市役所) is also indicated. A red dotted line highlights the area of the development plan, which is further detailed in a callout box.

1-A-1
乙川リバーフロント地区
都市再生整備計画
A=157.2ha

都市再生整備計画 モニタリングシート

乙川リバーフロント地区

平成30年3月

愛知県岡崎市

都道府県名	愛知県	市町村名	岡崎市	地区名	乙川リバーフロント地区	面積	157.2ha
交付期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施予定期	平成31年度	モニタリング実施時期	平成29年度	交付対象事業費	3,339百万円
						国費率	0.5

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	事業名				事業進捗の状況(順調か、遅れているか)			
			道路【(都市再構築戦略事業):籠田町線】 公園【(都市再構築戦略事業):乙川河川緑地、岡崎公園、籠田公園】 地域生活基盤施設【(広場):ボケットパーク】 地域生活基盤施設【(情報板):案内板、サイン】 地域生活基盤施設【(人工地盤等):ペデストリアンデッキ】 高質空間形成施設【(緑化施設等):プロムナード】 高質空間形成施設【(歩行者支援施設):バリアフリー対応トイレ】				乙川河川緑地の遊歩道や階段が一部供用開始される等、順調に事業が進展している。			
	提案事業	-				-				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	提案事業	-				-				-
	新たに追加した事業	基幹事業	公園【(都市再生構築戦略事業):中央緑道】 街なみ環境整備事業				【公園】歴史まちづくり整備事業における岡崎城周辺等の良好な景観形成・保全のための事業を追加した。		【公園】事業の追加を踏まえ、市民アンケート調査を実施し、指標1、2、4の見直しをおこなった。	
	提案事業	-				【街なみ環境整備事業】歴史まちづくり法に基づき「岡崎市歴史的風致維持向上計画」が平成28年5月19日に認定されたことを受け、本地区に位置する岡崎城跡活用に向け、事業を追加した。				【街なみ環境整備事業】事業の追加を踏まえ、市民アンケート調査を実施し、指標1、2、4の見直しをおこなった。
	交付期間の変更	当初	平成27年度～31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし			
	変更	なし								

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		モニタリング	目標達成見込み	総合所見		今後の対応方針		
	指標1	本地区の魅力発揮に関する市民等満足度		%	60	H26	65			数値目標の達成状況	効果発現要因			
	指標2	地区中央部の橋梁(歩道、人道橋)を往来する人数		人／日(12h)	3,720	H26	4,170	H31	65.5	H29	あり ● 本地区の魅力発揮に関する市民等満足度が上昇し、平成29年度時点で目標値を達成している。 引き続き、市民等の目に見える形で整備が進展していくことから、満足度は更に上昇すると考えられ、目標は達成可能であると考える。	乙川河川緑地で最も利用が見込まれる殿橋下流プロムナードと河川敷の整備が完了し、その場所を利用した社会実験等により、地区の魅力が向上し、また、その場所でのアンケート調査を実施したことにより市民等満足度が向上した。	引き続き事業を推進し、中央緑道やペデストリアンデッキの整備等により、満足度の維持・上昇を図る。	
				人／年	20.7万	H26	24.3万	H31	5,106	H29	あり ● 殿橋、明代橋、潛水橋における歩行者、自転車数が上昇し、平成29年度時点で目標値を達成している。	乙川河川緑地で最も利用が見込まれる殿橋下流プロムナードと河川敷の整備が完了し、その場所を利用した社会実験の実施等により、地区の魅力が向上し、橋梁を往来する人数が増加した。	引き続き事業を推進し、橋梁往来者数の維持・上昇を図る。	
	指標3	岡崎公園を訪れる観光客数		人／年	20.7万	H26	24.3万	H31	22.7万	H28	あり ● 岡崎城入場者数は從前値から微増している。 現在、周辺の整備が事業途中であるため、事業の進展に伴い来訪者が増加するものと考え、目標は達成可能であると考える。	乙川河川緑地で最も利用が見込まれる殿橋下流プロムナードと河川敷の整備が完了し、その場所を利用した社会実験の実施等により、岡崎公園の来訪者数が増加した。	引き続き事業を推進し、周辺の環境を向上することで、岡崎城入場者数の増加を図る。	
				人／日	36,594	H26	40,900	H31	39,068	H28	あり ● 東岡崎駅乗降客数は從前値から順調に増加している。 現在、ペデストリアンデッキの整備や駅周辺の関連事業が事業途中であるため、事業の進展に伴い乗降客数が増加するものと考え、目標は達成可能であると考える。	乙川河川緑地で最も利用が見込まれる殿橋下流プロムナードと河川敷の整備が完了し、その場所を利用した社会実験の実施等により、地区の魅力が向上し、東岡崎駅の乗降客数が増加した。	引き続き事業を推進し、ペデストリアンデッキ等駅周辺の整備等の進展や北東街区の民間事業等により、更なる乗降客数の増加を図る。	

	指標		単位	従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針			
				基準年度	目標年度	計測年度									
3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	QURUWA上の路線価	千円/m ²	107.8	H26	109.4	H32	108.7	H29	△	事業の進捗により、路線価は向上しつつある。	引き続き事業を推進し、路線価の上昇を図る。			
	その他の数値指標2	QURUWA上の公共空間を利活用した民間事業活動日数	日/年	1	H26	70	H32	10	H29	△	民間主導による公共空間利活用が促進されつつある。	引き続き事業を推進し、公民連携を促進する。			
	その他の数値指標3									△					
4)定性的な効果発現状況	本事業を含む「乙川リバーフロント地区まちづくり(おとがわプロジェクト)」により、かわまちづくり、歴史まちづくり、リノベーションまちづくり、観光まちづくりが進展し、既存拠点を河川、公園、道路などの公共投資に持続させ、まちなかの回遊を実現するため、QURUWA上の良質な公共空間を活かし優良な民間企業を引き込む公民連携事業を実施していく「QURUWA戦略」が提唱される等、公民連携によるまちづくりの機運が高まっている。														
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況				今後の対応方針等					
	住民参加プロセス	乙川リバーフロント推進部会の開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	部会を受けた整備として本計画を実施しており、引き続き事業を推進する。							
		官民連携の協議会				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	モニタリング時点では実施していない							
		乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン事業による市民の意見聴取				都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	社会実験を通じて、民間主体の協議会として河川空間の更なる活用を推進する。							
	持続的なまちづくり体制の構築	官民連携によるまちづくりの構築				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	モニタリング時点では実施していない							
		未来のまちづくりの担い手の育成と官民協働のまちづくりの構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
6)モニタリングの所見	総合所見	順調	●	概ね順調に事業が進んでいる。			今後の事業の改善点	本事業によって整備された公共空間と、既存集客拠点(りぶら、岡崎城等)及び交通結節点を結んだ主要回遊動線「QURUWA」を設定し、歴史文化を保守する視点を持ちつつ、QURUWA上の良質な公共空間を活かして優良な民間企業を引き込む公民連携事業を実施する。							
		要改善													